

『奄美野生生物保護センター』



所在地 大島郡大和村思勝

完成年度 平成25年度

所有者・管理者 環境省

設計者・施工者 榎乃村工藝社

概要

奄美野生生物保護センターは、奄美群島の生きものや自然を保護するために、平成12年に設立された施設であり、希少な野生生物に関する調査・研究、外来種であるマングースの防除事業、センターでの展示や自然観察会などを通じた普及啓発、「奄美・琉球」の世界遺産登録に向けた取組などを総合的に行う拠点となっている。

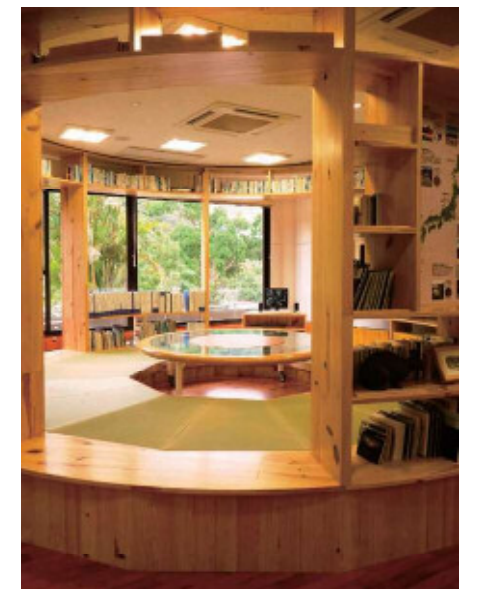
平成25年に、利用者の方々の利便性向上や情報発信を目的として、建物外装の塗装や野外サイン設置のほか、地域の専門家の方々と連携して蓄積した多くの剥製や映像等を活用した展示、学習の場及び憩いの場となるようなスペースの整備などが行われた。

講評

建物の外観は、従来の奄美独特の高倉の集まりである群倉(ぼれぐら)をイメージした屋根形状は残しつつ、外壁の色を落ち着いた濃い茶色で仕上げることで、背景にある山の深い緑と調和した落ち着いた雰囲気となっている。

内部は、地元産材であるリュウキュウマツを活用し、円形の特徴的なライブラリースペースの整備、書架や棚の新設、また、剥製などの展示品の増設などが行われており、展示空間構成や様々な展示が、とても洗練され、わかりやすいものとなっている。

外観や展示施設を含めた施設全体が、奄美の亜熱帯の森に溶け込むような美しいものとなっており、立地している風土や景観になじむデザインになっていることや、リニューアルにより新しいイメージを創出していることが、これからの時代にとっても高く評価できる。



『広田遺跡ミュージアム』



所在地 熊毛郡南種子町平山

完成年度 平成26年度

所有者・管理者 南種子町

設計者 (株)石本建築事務所

施工者 (株)鴻池組 南九州支店、 姫内建設(株)

概要

広田遺跡ミュージアムは、今から1,700年前～1,300年前(弥生時代終末期～古代)にかけての集団埋葬墓の遺跡である「国史跡広田遺跡」のガイダンス施設であり、館内では、国重要文化財「広田遺跡出土品」のほか、集団墓地や埋葬の様子、遺跡の特徴などが、実物、模型、映像などによって展示されている。

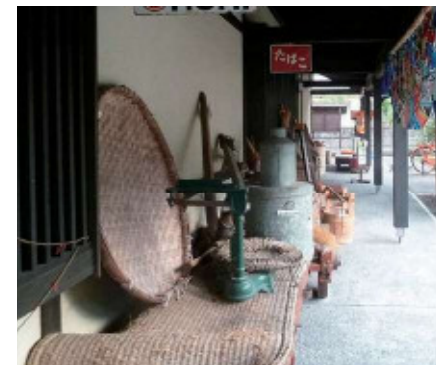
施設の入口は、サンゴ石でつくられた「結界の壁」が広がり、来館者を遺跡の世界へいざなうという物語性と神秘性が表現されている。

講評

象徴的な門とそれに連結するサンゴの低い石垣、奥に見える本体の薄いコンクリート屋根と壁は、都会の軽やかさを感じさせるデザインである。また、「結界の壁」、前庭空間、エントランス空間へと続く物語性の高い空間構成やシンプルなデザインは、モニュメントとしてインパクトが強く、際立っている。

幾何学的な造形と、これと対比的な豊かな島の自然と遺跡群が、地域の空間的魅力を高めるとともに、地域のシンボルとなっており、今後、ミュージアムと一体的に整備された「国史跡広田遺跡公園」とともに、古代と宇宙のロマンが繋がり膨らむパワースポットとして、ひと・まち・地域に夢と活力を与えることが期待される。

『重富民俗資料館』



所在地 始良市平松

完成年度 平成24年度

所有者・管理者 共栄商事(有)

設計者 ゲンプラン設計(株)

施工者 富士住宅産業(株)

その他計画に携わった者 大久保直義(医療法人大進会理事長)

概要

重富民俗資料館は、重富麓の武家屋敷群が残る地域に建てられたもので、大久保直義氏(医療法人大進会理事長)が個人で蒐集した昭和時代を中心とする生活道具や昆虫コレクションなどが展示されている。

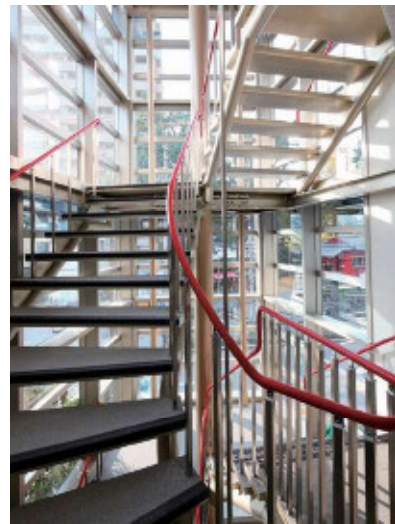
高齢者の方々には民具を通して時代を懐かしんでいただき、また、子どもたちには昆虫教室などで地域の自然に親しんで欲しいという思いから開設された資料館は、高さを低く抑えた切妻屋根の親しみやすい建物となるように計画されている。

講評

外観は、和風平屋の落ち着いた佇まいで、周辺の武家屋敷群とよく調和しており、風格が感じられる。資料館の玄関前には、井戸や赤いポスト、古い農作業用道具などが並べられ、中に入ると、ギャラリーや畳スペースに、明治・大正から昭和前期までの生活用具などが展示されており、高齢者には心やすまり、子どもたちにはタイムスリップ感を抱かせるようなものとなっている。

この資料館には、一般の方が月替わりで展示できるギャラリーが設けられており、また、昆虫教室などのイベントが開催されるなど、資料館としての役割だけでなく、地域に開かれた施設となっており、地域の人々にとても愛され、親しまれているということも評価に値する。

『OK 沢井薬品株式会社』



所在地 鹿児島市春日町

所有者・管理者 OK 沢井薬品(株)

施工者 (株)新生組

概要

完成年度 平成24年度

設計者 (株)アーキ・プラン

OK 沢井薬品株式会社は、多くの史跡や石垣、石橋などが残る歴史と自然に恵まれた環境に建つ医薬品卸売業の事務所ビルである。

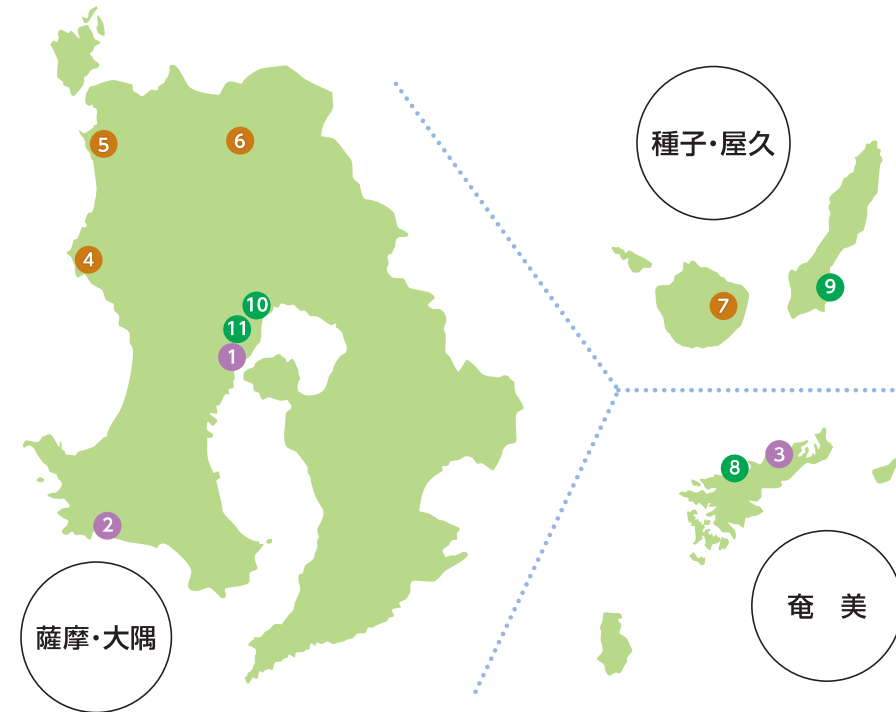
建物の外観は、敷地周辺の春日神社や初代文部大臣森有礼生誕記念碑、風格ある街並みなどに配慮して、歩道側は積極的に緑化を行うとともに、建物の外装材は、石垣や石橋にちなんだ石目調のものを採用し、鹿児島の風土・歴史に配慮した落ち着いた色彩となるように計画されている。

講評

周辺の景観に配慮された建物は、一見、事務所ビルとは感じられないような、周りの雰囲気と調和した外観となっている。また、石目調の外壁は、リズム感を与えながら心地よさを感じさせるものとなっている。

歴史ある街区に立地することを考慮し、街区の景観と歩調を合わせながら、独自の表情をつくり、通りに魅力を与えるなど、個性ある景観創出への取組を評価したい。

受賞箇所一覧



- 第1回
- 1 [大賞] 甲突川リバーサイドウォーク事業 (鹿児島市)
 - 2 [優秀賞] 枕崎駅舎 (枕崎市)
 - 3 [優秀賞] 鹿児島県立奄美高校・奄美図書館 (奄美市)
- 第2回
- 4 [大賞] 薩摩藩英国留学生記念館 (いちき串木野市)
 - 5 [優秀賞] にぎわい交流館 阿久根駅 (阿久根市)
 - 6 [優秀賞] 曾木の滝分水路 (伊佐市)
 - 7 [奨励賞] 高塚避難小屋 (屋久島町)
- 第3回
- 8 [大賞] 奄美野生生物保護センター (大和村)
 - 9 [優秀賞] 広田遺跡ミュージアム (南種子町)
 - 10 [優秀賞] 重富民俗資料館 (始良市)
 - 11 [奨励賞] OK 沢井薬品(株) (鹿児島市)

審査について

都市デザイン部門は、自薦・他薦を含め 40 件の応募があり、1次審査にて2次審査へ進む案件を 11 件に絞り込んだ。

2次審査には表彰案件以外に、「鹿児島市立病院」、「鹿児島県立楠集中学校・高等学校」、「霧や桜や」、「鹿児島市役所本庁舎西別館」、「天文館公園」、「出水市立出水小学校」、「丸尾滝橋」が選ばれた。

「鹿児島市立病院」は、建物の前面に広々とした歩行者空間を設けるなど、地域への貢献度はとても高いと評価されたが、惜しくも表彰には至らなかった。「鹿児島県立楠集中学校・高等学校」は、かごしま県産材を活用した取組が評価された。このほか、民間の菓子店舗である「霧や桜や」は、天降川沿いにふさわしい落ち着いたフォルムと色彩となっている。「鹿児島市役所本庁舎西別館」は、本庁舎の再整備事業が進められている途中であることから、全体の推移をみてみたいとの意見があった。

1次審査で選外となったものの中にも、周辺景観に配慮した施設や地域の特色を生かした施設などが見られ、今後、県内各地に、特徴ある素晴らしい都市景観が形成されていくことが期待される。

